

男女平等の視点から考える防災もも

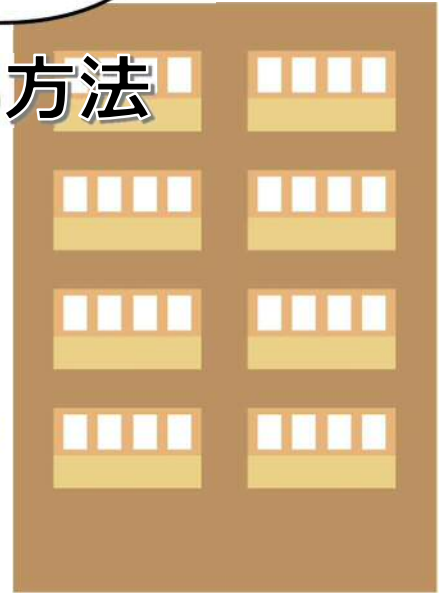
公開講座

# 10 日以上の 在宅避難を実現する方法

「もしも」のコト、  
考えていますか？

「在宅避難」って  
どういうこと？

やっぱり、  
住み慣れたお家が  
一番落ち着く。



災害が起きた時に、避難所へは行かず、わが家で生活することを在宅避難といいます。  
集合住宅に住む家庭の多くは、在宅避難という選択になる可能性が高いコト、知っていますか。  
自分や大切な家族を守る「もしも」の時の備えについて、一緒に考えてみませんか。

日 時：平成 29 年 2 月 5 日(日) 14:00～16:00

会 場：高津市民館

定 員：関心のある方 150 名

受講料：無料

保 育：1 歳～4 歳 先着 5 名  
(保育保険料 920 円)

申込み：1 月 20 日(金) 10:00～

電話・FAX・HP・来館にて受付【先着順】

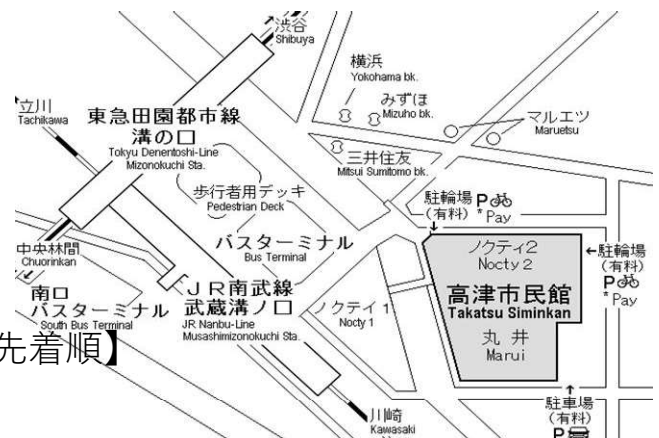
問合せ：高津市民館

〒213-0001 川崎市高津区溝口 1-4-1 ノクティ 2 ビル 11・12 階

TEL：0 4 4 - 8 1 4 - 7 6 0 3 FAX：0 4 4 - 8 3 3 - 8 1 7 5

主催：川崎市教育委員会／実施機関：高津市民館

連続講座（全 5 回）については裏面をご覧ください。



男女平等の視点で考える

「防災食」って  
 なんだか、  
 美味くなさそう。

実際、避難所って  
 どんな感じに  
 なるんだろう。

# 防災

非常対策グッズ入りの  
 お気に入りのポーチを  
 毎日持ち歩こう！

いつ起こるかわからない災害には、「もしも」の備えがなんといっても重要です。災害時だからこそ大切にしたい男女それぞれの視点。その視点を大切にするためには、お互いの協力が必要です。一緒に防災について考えてみませんか。



## プログラム

回	日付	内容・講師
1	2月5日(日) 14:00~16:00 大会議室	集合住宅での災害対策について学ぶ。「10日以上在宅避難を実現する方法」 集合住宅に住む家庭での防災・減災の基礎知識や在宅避難の必要性について学びます。 講師：マンション防災士 釜石 徹 さん
2	2月10日(金) 10:00~12:00 視聴覚室	災害とジェンダーについて学ぶ。 女性と男性がお互いの視点や立場を理解し、主体的に行動できる防災術を学びます。 講師：神奈川災害ボランティアネットワーク 塩沢 祥子 さん
3	2月17日(金) 10:00~12:00 料理室	もしもの時に役立つ防災食の体験。 普段料理をしない人でも、簡単に美味しい防災食が作れる工夫や調理方法を学びます。 講師：マンション防災士 釜石 徹 さん
4	2月24日(金) 10:00~12:00 視聴覚室	避難所運営ゲーム(HUG)を通して考える 避難所で実際にあった様々な問題について、男女平等の視点から考える感覚を身につけます。 講師：日本ミクニヤ株式会社 防災士 上園 智美 さん
5	3月3日(金) 10:00~12:00 視聴覚室	自分と大切な家族を守るための「備え」 いつ起こるかわからない災害に対して、自分と家族を守る必要最低限なものをみんなで考えます。 NPO 法人ウィメンズアイ 事務局長 栗林 美知子 さん

定員：関心のある方 20名 受講料：無料（防災食の材料費等として400円）

保育：1歳～4歳 先着5名（保育保険料 920円）

申込み：1月20日(金) 10:00～電話・FAX・来館にて受付【先着順】

問合せ：高津市民館 男女の視点から考える防災担当

TEL：044-814-7603 FAX：044-833-8175

※お申込みの際の個人情報は、川崎市個人情報保護条例に基づき、事業の目的に限り使用いたします。